

# インフラ整備の内容は

## 早期の整備に努める

**問** 昨年の台風19号被害の災害査定は済んでいるのか。また、国・県との調整は進んでいるのか。

**佐藤町長** 農林業施設は昨年12月に5件、公共土木施設は今年1月末までに52件、水道施設は今年2月に6件すべて終了している。

**問** 大浦地区の秀禪川とそれに係る道路は根本的に改良しなければならぬのではないか。

**昆建設課長** 秀禪川の改良については、地元住民の要望もあり、現在調査

設計業務を進めている。**問** ワラビ川も少しの雨でも道路が冠水する。改良の予定はあるか。

**建設課長** ワラビ川下流の旧第3分団屯所付近は、県が進めている町道の付け替え工事で道路のかさ上げをする。**問** 県工事の遅れにより

漁港や魚市場付近の整備が十分ではないが、町の見解は。**町長** 当初の予定より遅れが生じており、それに伴い臨港道路整備も遅れが生じている。

**問** 田の浜の早川道路や、船越魚市場へ降りる道路、山田漁港の西川水門付近は、町の道路行政と関わる所であるが、これからの対応は。

**野口水産商工課長** 防潮堤工事の影響で通行に支障がある道路は、県と現

地を確認し対応してきた。西川水門付近の未舗装道路も把握しており、県に早期復旧をお願いする。

**問** インフラ整備には建設業者が欠かせないが、入札不調は起きていないか。

**町長** 令和元年度に行つた92件の建設工事のうち31件が入札不調で不調率は34%であったが、再度入札、随意契約等で27件が落札している。

## 新型コロナウイルスへの対応は

### 町独自の対応も検討する

**問** 当町では感染者が出していないが、医療機関の体制は万全か。また対応マニュアル等を作成しているか。

**町長** すでに作成しているインフルエンザ等対策行動計画、実施計画の内容を改正しながら、これに基づいて行動している。また、県が主体となつて病床の整備や、宿泊施設の活用、医療機器の充実を進めている。

**問** ウイルスの封じ込めが最優先だが町の経済を停滞させてはいけない。町内事業者にパーテーションや飛沫防止のアク

リル板などの設置を促し、支援すべきでは。

**水産商工課長** 今後どのような支援が必要なのか調査、検討していく。

**問** 目に見えにくい被害を受けている一次産業への支援策は。**水産商工課長** 諸条件があるが、水産業、農林業従事者に対し、1人15万円の支援と5万円の支援を行う。



臨港道路の早期整備を（西川水門付近）



議員 山崎泰昌  
(政和会)